



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通算 2928 回 第 31 例会
2017 年 2 月 24 日
毎週金曜日

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

2016-2017年度 R I 会長
ジョン F. ジャーム

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

[URL] <http://hrc.mond.jp/>[E-mail] hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2016-2017年度 人吉ロータリークラブテーマ

復古創新 - 60周年を祝い、地域に奉仕しよう

本日の進行 (目次)

- P 1~2 会長の時間
P 2 幹事報告、出席率報告、米山功労者表彰
P 2~4 平和と紛争予防・紛争解決月間 内部卓話
延岡研一直前会長
P 4~6 台北稻江RC30周年参加報告・写真
本田会長・国際奉仕委員会 (有村・宮原)
二二・R財・米山・人吉奨学寄付カード

点 鐘 本田 節 会長

歌 唱 ッガリダー 有馬宏昭 SAA 委員

国 歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「奉仕の理想」

司会・進行 石蔵尚之 プログラム委員長

会長の時間

会長 本田 節

本日は、2月24日第三の金曜日ということでプレミアムフライデーという午後3時に退社するという新しい試みがスタートしました。これは政府が働き方改革の中で提案しているようでございますが、大手企業にあっては良いのかもしれませんが、私達中小企業にあってはなかなか思うようにはいかないのではないかと思います。これは私だけではないのではないのでしょうか。

今週の20日~22日に台湾台北の稲江ロータリークラブの創立30周年記念式典に会員と奥様の31名で参加をして参りました。私は初めての経験で大変不安もございましたが、無事交流と友情を深めて帰ることができました。これもひとえに伊久美パスト会長や有村国際奉仕委員長、北会員 (つばめ旅行センター) そして参加をしていただいた全ての会員皆様のお助けがあったからでこそと心より感謝を申し上げます。

稲江ロータリークラブは昨年4月の熊本大地震ではいち早く多額の義援金やお見舞いのお手紙を頂くなど、大変当クラブに対して手厚い深

いご厚情を頂いているという点や、1990年に友好の火が灯り、交流が始まりそして2002年には第一次姉妹クラブ調印式、その5年後当クラブの50周年には訪日戴き第二次姉妹クラブ調印式、25周年式典において第三次姉妹クラブ調印式、そして本年度クラブ60周年記念式典において第四次姉妹クラブを締結、という長年に渡る両クラブ間で互いの親睦交流があることもあって、大変な歓迎をして頂きました。

前夜祭では、同じく友好クラブの上尾西ロータリークラブの皆さんとも交流をさせていただき、当クラブの歌姫平田フク会員のカラオケや奥様達のバックコーラスや踊りと大変賑やかで楽しい一時でありました。当日の式典も素晴らしく全てにおいて至れり尽くせりのおもてなしが大変印象に残りました。私にとっても大変多くの学びをいただき、会員の皆様とより深い友情を深めることができたのは、大きな収穫だったと思っております。詳細にわたっては後ほど有村国際奉仕委員長からご報告をしていただくことになっておりますので、よろしくお願いたします。

さて、今月は“平和と紛争予防・紛争解決月間”でございます。直前会長の延岡研一会員に卓話をお願いしてありますので、楽しみにして下さい。

RI会長ジョン・F・ジャーム氏は「ロータリーは創立112年を迎えますがロータリーは数多くの試練に立ち向かってきました。そして、戦いには平和を、貧困に苦しむ人には教育を、小さな村には診療所を、世界規模でのポリオ撲滅活動、などプロジェクトの大小にかかわらず、基本的な医療の不足という問題にも対応してきました。そう考えるとロータリーが創設されていなかったら、世界がどのようなになっていたのか私達は知る由もありません。」と言われています。私も常にロータリーの目的や4つのテストを自分に照らし合わせながらロータリー活動に精進していきたいと改めて思いました。

もう一つ、ガバナー月信による前田ガバナーのアドレスをお伝えすることも会長の役割となっております。今月は“熊本・大分地震の義援金について”というアドレスでした。その中で寄せられた義援金の活用に関するプロジェクトチームが結成され、各クラブにその提案がなされました。19のクラブから34事業の提案があり、プロジェクトチームで検討された結果、現時点で21の事業に対して承認がなされております。その一つが当クラブより提案させていただきました、「命のキッチンカー」の事業でありました。今、中川パスト会長や葉山幹事の方に色々と準備を進めていただいております、完成いたしましたら皆様にもご披露をしたいと思っております。後日例会において私の方で卓話をさせていただきますことになっておりますので、よろしくお願いたします。

幹事報告

幹事 葉山稔洋

【連絡事項】

- ・2017-2018年度地区研修協議会の案内→石蔵副幹事にお渡しします。
- ・台北稻江RC30周年式典に31名の会員・夫人で出席して参りました。稻江RCより全会員へお土産を頂きましたのでお席にお配りしております。お受け取り下さい。
- ・米山奨学生世話クラブの決定の知らせが届きました。奨学生は熊本大学の王辰寧さんです。カウンセラーは次年度米山委員長の宮原会員と本田会長の2名です。4月8日(土)説明会・オリエンテーション、懇親会が行われます。→有馬米山委員長へお渡しします。
- ・八代南RC、熊本西RCより例会変更が届いておりますので掲示します。

出席率報告

委員長 内藤靖雄

会 員 数	64名	本日の出席率	
出 席 免 除	4名	78.33%	
欠 席 者 数	13名	2 / 10 出席率	81.67%
出 席 者 数	47名	補 填 数	2名
免除会員出席者数	0名	修 正 出 席 率	85.0%

- *届け出欠席 大野・堤正・原田・青木・永尾・田上・武末
中村・尾上・伊久美・村山・山口令・大賀
- *出席免除会員(b) 増田, 愛甲, 釜田, 齊藤
- *メークアップ 台北稻江RC30周年式典; 渡辺・葉山

【米山記念奨学会】



第2回
米山功労者マルチプル
中川貴夫会員

【ロータリー月間卓話】 延岡研一直前会長

平和と紛争予防・紛争解決月間卓話



今、世界は「平和」とは言い難く、各地で戦争・紛争状態にあります。日本周辺においても、その火種がくすぶっており、その源流には世界第2の軍事・経済大国となった中国の存在が大きく、本日は日本を含む、一番身近なアジア太平洋地域における中国の海洋戦略とそれに対する米軍の対中抑止戦略について紹介したいと思います。

中国の「接近阻止/領域拒否(A2/AD)戦略」と米国の「エア・シー・バトル(ASB)」構想

前提として

1. 冷戦終結以降、米軍はアジア地域から常備戦力を削減してきました。結果、軍事力をアジア地域に再展開するには距離が遠すぎます。また、米中の軍事予算についても、米軍は軍事予算を減らす一方、中国は富士山の上り斜面のように予算を積み上げています。
2. 先ず、中国の「A2/AD戦略」と米国の「ASB」構想の前提となるのが、中国の軍事上の概念である第1列島線と第2列島線です。(中国の軍事上の概念; 近海防御作戦(’82) ⇒積極防御作戦(’85))

「第1列島線と第2列島線」



第1列島線の南シナ海のでっぱりは「中国の赤い舌」といわれ1953年から領海と主張する(台湾も同様に主張)尖閣諸島については海底調査で石油資源が豊富にあると分かった1970年から自国領土と主張(台湾も同様に主張)

3. 習近平国家主席（2013年に就任）
 「偉大なる中華民族の復活」
 「米国と対等かそれ以上の覇権国家になること」

↓
 オバマ大統領に対して
 （2013年6月の首脳会談において）

「新たな大国関係」（国内問題、領土問題に関与するな）
 「広大な太平洋は二つの大国にとって十分な空間がある」（太平洋を米中で二分しよう）

↓
 これに対して、オバマ大統領は
 「中国の平和的な大刀を期待する」と返す。

↓
 しかし、中国はその後にも軍事力を増強し、特に南沙諸島の順次基地化を推進し現在に至る。
 （7つの人工島に軍事施設、内3つには3,000mの滑走路建設）

4. 戦場は、五つの領域に拡大
 「陸・海・空」の3から、「陸・海・空・宇宙・サイバー空間」の5の領域になった。

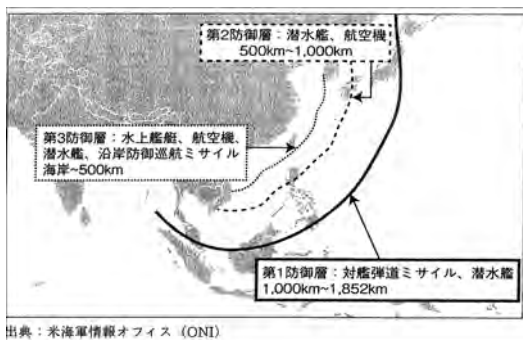
5. 軍隊の効率的運用
 C3IからC4ISR（指揮・統制・通信・コンピュータ・情報・監視・偵察）へと進化

中国の「接近阻止/領域拒否（A2/AD）戦略」

（2009年に米国の年次報告で提唱された名称）

- 第1列島線内は誰にも邪魔はさせない
- ・ 96年の台湾海峡危機にショック
 （台湾海峡に派遣された2個の米空母打撃群に打つ手なし）
 - ・ 米軍に勝つために導き出した戦略
 - ・ 中国領土・領海からミサイル等の長距離火力で接近を阻止
 - ・ 第2列島線内に米海軍を侵入させない（対艦弾道ミサイル、潜水艦）
 - ・ 第1列島線～近海（あらゆる戦力の投入）

「中国の重層的なA2/AD能力」



出典：米海軍情報オフィス（ONI）

上記破線（第2防御層）に中国の主張する「中国の赤い舌」を含め、そこに侵入させないために、南沙諸島は確信的利益として必要

習主席の軍改革により強化
 （2015年12月31日に「建国以来最大規模の軍改革」を断行）

- ・ 陸軍優位体制の是正
- ・ ロケット軍の創設（陸海空軍と並列の軍種に格上げ）
- ・ 戦略支援部隊の新設（サイバー戦、電子線、宇宙戦を担当）

対抗する米軍のエア・シー・バトル(ASB)構想

2010年2月「将来において最も蓋然性が高く、死活的に重要な脅威に備える」という米国の戦略目標達成の一手段であり、名指しはしていないが中国が主対象であり、周辺同盟国に任務分担の覚悟を求めるもの

（2020年までの体制完了が目標）

1. 米中の本格的な大規模戦争を想定
 ⇒第1列島線、第2列島線が戦場になっており、日本も必然的に巻き込まれる
2. ASBの前提条件
 - ①先制攻撃はしない
 - ②相互核抑止は維持
 - ③事前の情報活動には限界
 - ④同盟国（日豪）の支援を期待
 - ⑤米中両国の領土も攻撃対象
 - ⑥宇宙も戦場
 - ⑦長期戦が有利

3. ASBの2段階作戦

第1段 防勢作戦

五つの領域で中国軍の先制攻撃を受ける

↓
 米海空軍主力（空母、航空機）は一時的に後方（第2列島線以遠）に退避
 第1列島線は主として水中優勢にある潜水艦で対処

イーグリス艦、地上配置の防空部隊（同盟国軍）によるミサイル防衛
 （基地の分散化・強靱化が急務）

↓
 五つの領域において敵C4Iネットワークへの攻撃、無力化

第2段 攻勢作戦

一時退避の空母、航空機による攻勢作戦
 ↓（により）

あらゆる領域で主導権を奪回、維持

↓（如何にして）

「遠距離封鎖作戦」艦船撃沈ではなく海上阻止の狙い

機雷（陸上部隊も敷設）と地上SSM部隊による行動制限の強要

↓（そのためにも）

基地機能の回復・維持による継続的な後方支

援態勢の確立

とはいえ、現状では中国によるミサイルによる飽和攻撃には対処困難であり、新兵器の早期開発・実戦配備が急務となっている。



ステルス性の高々度無人偵察機、無人攻撃機、長距離爆撃機に加えて高出力レーザー兵器、高出力マイクロ波兵器、電磁レールガンの開発



実戦配備へ

ASBの目的は「紛争抑止」

「戦勝」ではなく「紛争の抑止」= 西太平洋の通常兵力による軍事バランスの維持



米国が自らの国益を守り、国際秩序を維持するという断固たる能力と意思の表示



中国の挑発行為や不法行為を抑止することが最大の「目的」



抑止が失敗した場合には軍事作戦全般にわたり敵を撃破する

ASBは2015年JAM—GCに移行

JAM—GC(国際公共財への接近及び機動のための統合構想)

海軍、空軍主体の作戦に陸軍と海兵隊も主力として加わる



島嶼防衛に力点



陸自 南西諸島防衛 与那国島、石垣島、宮古島、奄美大島に部隊配置へ

最後に

トランプ大統領は、オバマ前大統領のような弱腰外交ではないと考えますが、中国に対して極端な強硬路線に舵を切る可能性もあれば、また経済面を取引に極端な柔軟路線に舵を切る可能性も排除できないのではないかと一抹の不安もよぎります。

また、2月の日米首脳会談での共同声明で日米安保条約第5条が尖閣諸島にも適用と文書で確認されたことは非常に大きい事実ではありますが、グレーゾーン事態での尖閣対処は、あくまでも日本が独自で対処しなければならないという現実に基づいて、言うまでもない海上保安庁の能力・権限の強化だけではなく自衛隊出動の法的根拠の早期是正が必要ではないでしょうか。

【国際奉仕事業】

『台北稻江RC創立30周年記念式典参加報告』

本田 節会長

稲江RC30周年に参加をいたしました所感を少し述べさせていただきます。

式典前日の前夜祭は同じ姉妹締結をされている埼玉県上尾西RCの皆さんとご一緒させて頂きました。稲江クラブ、上尾西クラブとも親交を深めることが出来たいへん良かったと思います。まず私がおどろきましたのは稲江クラブの歓迎でした。前夜祭から式典までかなりのお金を使われたおもてなしであったものですから、私は最終日に通訳を通してこのような過分なる歓迎を受けると60周年で迎える時に大変悩みますとお話をしました。それに対し、当クラブの有り方だからいいんだというお話と、まだ日の浅いクラブですから本来の祝賀会のあり方を人吉RC60周年から学ぶよう伝えていきますという年配の方からのお話もありました。

諸先輩方の60年の歩みと、友好として27年間姉妹として15年間の交流を重ねて来られた友情の深さを実感することができ、歴代パスト会長、国際奉仕委員長の多大なるご尽力があることを再認識させてもらったことが現会長として一番の学びであったと思っております。

当クラブの素晴らしさを客観的に見つめることができた周年行事でありました。クラブの年代層が若くなり交流の在り方も時代に応じて変わっていかねばならないのかなということも私自身感じたこととございました。

これまでの皆様方に感謝をして国際奉仕の有村委員長の報告に移りたいと思います。有村委員長には訪問準備から式典参加3日間の最後まで休む暇なくご尽力をいただき本当にありがとうございました。

国際奉仕委員長

有村隆徳

本田会長の報告のとおり31名の会員とご夫人で参加して参りました。なによりも最後まで事故や病気もなく無事に帰ってきたことにホッとしております。

同じ姉妹クラブの上尾西RCから17名、人吉RCから31名の参加にたいへん感激されておられました。葉山幹事には金銭の管理を、石蔵会員には広報として写真撮影や編集をして頂きました。

皆様からの2000円の負担金は大切に使用させて頂きました。後日会計報告を致します。

台北稲江RC創立30周年記念式典 訪台日程

月日	発着地 滞在地	現地 時間	交通 機関	スケジュール	食事
1 2 / 20 (月)	すみれホール	06:00		すみれホールご集合(時間厳守)	昼食
	福岡空港着 福岡空港発	09:00 10:55	バス CI-111	福岡空港へ移動 福岡空港着 空路、チャイナエアラインにて台北へ	
	台北(桃園)着	12:35	専用車	台北到着 屋食の後、ホテルチェックイン ホテルロビーご集合後、前夜祭へご案内 【集合時間: 】 (グロリアプリンス/アンパサダー 泊)	
2 / 21 (火)	台 北		専用車	朝食後、夕刻までA組・B組に別れます A組:親睦ゴルフ(7名様) 林コゴルフ 09:00スタート (台北稲江扶輪社様手配) B組:台北半日市内観光(25名様) ・龍山寺・總統府(車窓) ・台北101モール自由散策 ・永康街付近のカフェにて休憩 ・華山1914文創園區 ・ショッピング(免税店) 創立30周年記念式典参加(18:10~) 場所:台北晶華酒店 3階宴会廳 式典終了後、二次会に参加されない方は 専用車にてホテルへご案内いたします ※二次会参加の方は各自にてホテルへ お戻りください (グロリアプリンス/アンパサダー 泊)	朝食 昼食
				朝食後、台北市内観光 ・故宮博物院・忠烈祠 ※屋食は圓山大飯店「松鶴廳」にてブッフェ 屋食後、民芸品店に立ち寄りショッピング その後、専用車にて空港へ 空路、チャイナエアラインにて帰国の途へ	朝食 昼食
3 2 / 22 (水)	台北(桃園)発	16:30	CI-116		-
	福岡空港着	19:35	バス	福岡空港着 通関手続き後、バスにて人吉へ	
		23:00		すみれホール到着後、解散	

訪台写真アルバム

説明 国際奉仕副委員長
宮原和広

◇ 台北(桃園) 12:30空港着 稲江RC歓迎



◇ 2/20 前夜祭 華泰飯店 18時~



参加会員・夫人31名

- | | |
|--------|--------|
| 有村 隆徳 | 新堀 純子 |
| 葉山 稔洋 | 鳥井 正徳 |
| 井手 富浩 | 渡辺 洋文 |
| 伊久美 寛志 | 小林 祐介 |
| 石蔵 尚之 | 岩井 和彦 |
| 北 昌二郎 | 浅野 強 |
| 中島 博之 | 有村 政代 |
| 和田 栄司 | 葉山 博子 |
| 山田 仁法 | 井手 桂子 |
| 平田 フク | 伊久美 欣子 |
| 本田 節 | 石蔵 由美 |
| 岩下 幸司 | 北 ゆかり |
| 丸尾 孜 | 中島 淳子 |
| 宮原 和広 | 和田 和子 |
| 中川 貴夫 | 山田 優子 |
| 大久保 勝人 | |

◇ 2/21 創立30周年式典
台北晶華酒店 18時10分～



◇ 2/22 惜別昼食会
圓山飯店 11時30分～



【寄付カード】 ニコニコ箱委員長 竹長一幸
〈ニコニコ箱委員会〉

・高山会員 台湾に行かれた皆様、お疲れ様でした。私は参加できなくて残念でした。おみやげまで頂きありがとうございました。

・漆野会員 4回連続で休んでしまいました。

〈米山記念奨学委員会〉

・中川会員 米山マルチプルを戴きありがとうございました。

〈人吉RC奨学基金委員会〉

・浅野会員 2月20日発売のどうぎゃん3月号に地元企業紹介で掲載いただきましたので見ていただければ幸いです。

・漆野会員 ニコニコカードと同文

点 鐘 本田 節 会長